

<リスク管理表>

トヨタ記念病院

No	リスク名	対策実施日	Plan 計画	Do 実行	Check 評価	Act 改善	再評価
1	B型肝炎ウイルスの 再活性化 (継続)	2013年8月 2014年4月 2015年11月 (調剤薬局へ の周知) 2016年3月 (改善:電子カル テに感染状 況を表示) 2016年4月 (キャンサーボ ードにて周 知) 2017年8月実 施率100%をめ ざし2サイクル 目	○	○	2016 年6月	継続	リスク分類 前1→後1 効果 不変 改善措置 あり
2	調剤薬局の注射抗 がん剤治療内容把 握不足により発生す る支持療法の逸脱	2017年6月 2020年10月	○ ○	○ ○	2020 年6月 病院ホ ームペ ージ上 にレジ メンを 公開 2021 年1月 から連 携充実 加算算 定を始 めると ともに、 調剤薬 局との 情報授 受を開 始。	継続	リスク分類 前3→後1 効果 あり 改善措置 あり

3	注射抗がん剤投与終了後のB型肝炎ウイルスの再活性化	2017年5月	○	○	2018年5月		リスク分類 前3→後2 効果 あり 改善措置 なし
4	B型肝炎ウイルスの再活性化 (内服抗がん剤に拡大)	2017年8月	○	○			リスク分類 前3→ <u> </u> 効果 未 改善措置 なし
5	副作用報告が適切に行われていない	2017年8月	○	○			リスク分類 前3→後 <u> </u> 効果 未 改善措置 なし
6	化学療法中の血糖推移モニタリング	2019年5月	○	○	○	継続	リスク分類 前3→後 <u>1</u> 効果 あり 改善措置 なし
7	ER受診時のirAE鑑別(ICI投与歴)	2019年7月	○	○	○		リスク分類 前3→後 <u>1</u> 効果 未 改善措置 未

8	新型コロナ肺炎の流行による化学療法室の安全性低下	2020年4月	○	○ 流行フェーズとレジメン毎に治療必要度をリスト化し、全例カルテに治療必要度の記載をルール化した。 フェース [↑] 上昇時は必要な治療のみ行うよう準備した。	○		リスク分類 前3→後1 効果あり 改善措置あり
9	ICI投与中の肺炎の早期発見	2020年6月	○	○ 2020年腫瘍内科医師がカルテチェックを行い、必要に応じてオーダーする	○	2020年6月に2ヶ月に1度胸部CTまたは胸部レントゲンを撮影するよう周知	リスク分類 前3→後1 効果なし 改善措置あり

10	希少癌における円滑な治療開始(レジメン選択)	2021年4月	○	2021年6月に希少癌に対する他癌腫のレジメン使用を認め、保険適応病名がない場合などは都度、保険外医療適応申請を行うようルールを決めた。			リスク分類 前3→後2 効果 未 改善措置 未
11	連携充実加算の算定に伴う患者介入率向上	2022年1月	○	○			リスク分類 前1→後 効果 未 改善措置 未
12	がん患者管理指導料3の算定率向上	2022年1月	○	○			リスク分類 前1→後 効果 未 改善措置 未
13	CIPNにおける患者の苦痛軽減	2022年9月					リスク分類 前3→後 効果 未 改善措置 未
14	ベット数増加に伴う患者数増加による患者の待ち時間	2023年5月					リスク分類 前1→後 効果 未 改善措置 未